

《大学支部》

平成17年度大学支部総会開催

平成17年5月19日神奈川歯科大学新教室棟12番教室において、多数の会員（委任状を含め187名）の参加により大学支部総会が開催されました。黒木副支部長による開会の辞、山村支部長による開会の挨拶の後、ご来賓の藤田晃同窓会会長より同窓会本部の現状、同窓会の今後についてなどの説明が述べられました。引き続き、議長、書記、議事録署名人が選出され、総会が進行されました。平成16年度の大学支部による主な活動報告として、平成16年度会計報告、関東地区連合会出席の報告（平成16年2月開催）、学術セミナー開催報告、中越地震義援金寄付の報告が行われました。また平成17年度決算案、平成17年度事業計画、予算案、役員変更および追加等の議案が提出され、議決されました。その他次期支部長選挙のため選挙管理委員会への活動依頼がありました。総会終了後に

は、学生食堂において恒例の新入会員の歓迎会が盛大に執り行われました。本学梅本学長、藤田同窓会会長も参加され、和やかな雰囲気にて無事終了致しました。新人類と旧人類のギャップが気になる昨今ですが、同窓会活動を通じて良い人間関係が築ければと願っております。

11回生 花井純夫



《大学支部》

同窓会大学支部学術講演会開催

平成17年度同窓会大学支部学術講演会は、海外留学され帰国された先生方をお願いして、「海外での生活、研究内容とその成果などについて」をテーマに企画致しました。今年度は3回の講演会を計画し、第1回は「リコンビナントアメリロジェニンの生理的役割(TGF- β シグナリングと蛋白質間相互作用について)」と題して、平成17年10月5日に成長発達歯科学講座小児歯科学分野の松澤光洋先生にお話し頂きました。

講演は、最近注目を集めている重要な蛋白質の一つであり、エナメル質の石灰化制御機構に関わるアメリロジェニンのことで、その組み替え蛋白質(rM179)が骨芽細胞におけるTGF- β のシグナル伝達経路に影響を与え、ポジティブコントロールのTGF- β に匹敵するほどの転写活性化が認めら

れたことや、ファージディスプレイ法による検索ではTIMP2を同定できたという内容でした。これらのことは、歯周組織の発生や再生過程におけるアメリロジェニンの生理作用を明らかにする上で大変興味深い知見と考えられます。さらなる発展を期待しています。

今後は、健康科学講座口腔保健学分野 戸田真司先生、生体管理医学講座薬理学分野 庄司洋史先生の講演を予定致しております。先生方の参加をお待ち致しております。

6回生 山村雅章